

【司会】

それでは、定刻となりましたので、ただいまから、令和 7 年 8 月 26 日、北区長定例記者会見を開始いたします。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。私、広報課長の村松です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、やまだ区長、政策経営部長の藤野、企画課長の栗生、財政課長の入江、スポーツ推進課長の滝澤が出席しております。

それでは、早速ですが、やまだ区長、よろしくお願いいたします。

【やまだ区長】

皆様こんにちは。本日はお忙しい中、8 月の区長記者会見、定例記者会見にご参加をいただきありがとうございます。それではまず表紙からです。こちら表紙は、皆さまご存知の通り、北区を代表するイベントであります、北区花火会の画像です。第 12 回目を迎えます北区花火会、REDxBLUE SPARKLE GATE は 9 月 27 日土曜日に開催が決定いたしました。

今年のテーマは進化・前進を表す「PROGRESS」であります。今年の見どころ、魅力を大きく 3 つご紹介したいと思うのですが、その前に、なんと良い嬉しいご報告です。今年、株式会社 KADOKAWA が運営する、日本最大級のトレンド＆おでかけ情報サイト「ウォーカープラス」で、全国の行ってよかった花火大会ランキングで、なんと北区花火会が 1 位をとりました。

もう素晴らしい！めちゃくちゃ嬉しかったんですけども、全国的にも 11 回、12 回目で注目を浴びる花火会となりました。改めて運営をしてくださっている大会関係者の皆様、ボランティアの方々、応援してくださっている区民の方々に感謝申し上げたいと思っています。

そして、今回の魅力 3 つです。

まず大きく 1 つ目は、北区芸術花火博覧会で、全国から集まった有名な花火師たちの方々が自慢の花火を披露されます。日本を代表する花火師、職人が生み出す素晴らしい技術と花火の競演が魅力の 1 つ目です。

そして 2 つ目は、華麗な花火が、音楽とシンクロしながら共演していく圧倒的な迫力をもったショーとなっています。花火のショーですね。特に国の重要文化財である赤水門へのライトアップと花火のコラボレーションは、この北区荒川土手でしか見ることができない壮大な花火の魅力ですね。

そして 3 つ目は、ストーリー花火です。これまでも渋沢栄一翁に関するストーリーなども題材にされてまいりましたが、今年は北区観光振興 10 周年を記念したスペシャルな、このエリアの歴史や人々の想いに基づいた物語を鮮やかに描き出す花火が夜空を彩るということです。

地域の地元の皆様にとっても、訪れる方々にとっても、特別なひとときとなる花火会だと思います。至近距離から迫力満点の絶景をお楽しみいただける機会ですので、ぜひご家族やご友人、皆様でご覧いただきたいと思っています。観覧チケットにつきましては、一部購入可能とまだなっておりますので、ぜひホームページ等でお問い合わせをいただき、ご購入いただきたいと思っております。

また、当日、そして花火会の翌日の朝の、片付ける運営ボランティアもあわせて募集をされています。

ぜひこちらもお力添えいただけたら嬉しいです。北区といたしましても、職員の皆さんに観覧や、また運営ボランティアの案内をし、みんなで盛り上げていくことができたかなと考えています。

それでは 2 枚目です。今月のメニューです。1 番から 7 番まで、「みんなで創る。北区新時代！」7 つの主要政策の中から 7 つの項目についてご報告をさせていただきたいと思います。

まず 3 枚目、1 項目目は、「区民サービス No.1 の行財政改革」から、渋沢栄一プロジェクトといたしまして、日本で唯一、日本で、そして初の渋沢栄一の名前がついた通り、渋沢通りを発信、強化する取り組みについてであります。

これまでの渋沢栄一翁に関するプロジェクト、取組といたしましては、令和 6 年 7 月 3 日に新紙幣の 1 万円札の肖像となった渋沢栄一翁、北区ゆかりの偉人であります。2019 年に、新 1 万円札の肖像になると発表されてから、区だけではなく、観光協会や産業界、また渋沢財団、印刷局など関係団体と連携しながら、区民の皆様とみんなで渋沢翁の功績や北区の魅力を発信する取り組みを進めてまいりました。

その一つとして、昨年 4 月 3 日の発表とともにですね、この渋沢通り、日本で初めて、そして唯一の渋沢栄一の名前がついた道路、渋沢通りが、王子駅中央口から旧古河庭園までの距離ですね、この間の道路を渋沢通りとして誕生しました。現在は王子駅中央口と国立印刷局のところに案内板が 2 か所設置してあります。

今回はさらに、この渋沢通りの普及啓発プロジェクトと銘打ちまして、3 つの取り組みを行ってまいります。この取り組みで、渋沢資料館をはじめ、ゆかりの地である飛鳥山公園にたくさんの観光客の方々や区民の方が来られて、さらには周辺の施設や商店、商店街、お店にも足を伸ばしていただき、渋沢栄一と共に北区の魅力を感じ、また地域の活性化や愛着につながることを目指しています。

1 つ目です、取り組みのうち 3 つのうちの 1 つ目です。歩道に渋沢通り、名所案内と 1 万円シールを貼っていきます。この①の写真画像になります。こちら左側が、渋沢通り名所案内のシールを貼ります。そしてこちら右側の画像ですが、こちらはですね、歩道のレンガに渋沢 1 万円シールをランダムに貼るなどして、例えばですね、渋沢関連の施設に向かっていただく、向かっていただきやすいこの歩道のシールと、あと歩きながら渋沢 1 万円シールがどこにあるかな？「渋沢さんを探せ！」のように、施設に向かいながら、また散歩をしながら、通り沿いにある名所や史跡を楽しく巡っていただけるように、また併せてですね、北区が紙幣の生まれる街であることを知っていただけるよう取り組んでいきたいと思っています。

そして②番、2 つ目です。歩道に、飛鳥山公園の入り口の歩道にですね、ロゴを投射して、オシャレに分かりやすく周知をしていきたいと思っています。これは夜間 6 時から夜 9 時まで投射しまして、渋沢通り、JR 王子駅中央口から旧古河庭園まで、この内容をですね、投射してまいります。ぜひご覧いただきたいなと思っています。

そして 3 つ目です。飛鳥山公園前と、また旧古河庭園前の歩道橋、2 つありますが、この歩道橋に、こは渋沢通りです、とわかるように横断幕を設置し、渋沢通りの始点と終点を周知していきたいと思っています。こちらです。

横断幕の設置は、特に渋沢翁ゆかりのある日時、日付ですね。例えばお札が発行された日、7月3日ですとか、命日である11月11日、また誕生日であります3月16日というような特別な日に設置をし、歴史とさらに深く印象づけていきたいと考えています。楽しみにしてください。

渋沢翁の足跡が残るこの地の魅力を最大限生かし、地域がより活性化することで、区民の皆様にとって、誇りと愛着が感じられる北区になることを目指してまいります。これからも渋沢通りを区民の皆様に、より身近で愛される存在にするため、東商北支部や町会、自治会、そして商店街、各種団体、区民の方々と連携し、強化をし、盛り上げてまいります。楽しみにしてください。

続きまして、4ページ目、2項目目となります。2項目目は、「子どもの幸せ No.1」から、新たな出発、さまざまな出会いに向かって、「もうひとつの卒業式」の実施であります。これまでさまざまな事情で卒業式に出ることができなかった方々にお声掛けをし、お集まりをいただきまして、卒業式を実施、卒業証書をお渡ししたいと思います。

現在、区では不登校対策として、フリースクール通学費補助や、学校の中での別室や学校とは別の場所での居場所、またバーチャル上での居場所など、さまざまな居場所づくりや、また児童生徒と保護者の方々への相談窓口の設置、対応を強化しております。

この不登校対策の取組の中で、児童生徒や保護者の皆さんから、こんなイベントに、行事に出たかったなとか、出ることができなかったという思いを聞く場面などがありました。特に人生における重要な節目の一つであります卒業式については、行くか行かないか、また行けるか行けないかと、本当に本人、また家族も思いが揺れる中で、自分の判断が、行動がそれで良かったのかと、後まで悩まれるケースもあると聞いています。

このような、学校に登校することが難しかった経験や、さまざまな事情で卒業式に参加できなかった、または参加しなかった方で、義務教育を修了したものの、心の中に小さな思いを残したまま日々を過ごされている、そんな方々に、新たな出発や区切りのきっかけを提供したい、そんな思いで、今年度、北区教育委員会は、自治体では全国初となる取り組みとして、「もうひとつの卒業式」、卒業を祝う会を企画開催いたします。この卒業式は、当日のイベントだけではなく、事前のワークショップなどを通じて、自身を見つめ、新たな出発の機会となるよう、お手伝いをしてまいります。

令和6年度の、ちなみに北区内での令和6年度の小中義務教育学校で卒業式に参加できなかった方々の人数は合計で109名いらっしゃいます。このような方々、そしてこれまでのそういった思いを抱えられている方々に向けて、この企画が届いたらいいなと思っています。

この企画、実はですね、今年3月にタレントの中川翔子さん、そして不登校ジャーナリストの石井しこうさんが発起人となって開催された「中川翔子と卒業式をもう一度」に、北区の福田教育長が参加されまして、非常に大きな感銘を受けるとともに、不登校対策の一つとして、児童・生徒に寄り添う有効な取り組みであると考えました。

その考えから、今年度補正予算を組みまして、実施することといたしました。具体的にはまず、令和8年1月24日に事前ワークショップを開催いただきまして、皆様にご参加をいただきます。このワークショップでは、参加者同士が交流し、思い出や経験を共有する時間を設けます。また、歌の練習や式の予行練習、予行演習、ご自身が不登校を経験され、現在不登校ジャーナリストとして多くの児童・生徒や保護者のサポートをされている石井しこうさんから、経験を通じて見えることや、この社会の中で自分を生かす方法などの講演が行われる予定となっています。

そして、令和8年2月7日土曜日には、卒業を祝う会を開催いたします。卒業証書を授与。送辞や答

辞など、本格的な卒業式の形式で、皆さんの新たな門出を祝福いたします。

参加対象は、北区内在住の方で、義務教育を令和 6 年度以前に修了した方です。どなたでも大丈夫です。年齢問わずです。事前ワークショップ、そして卒業を祝う会の両方に参加できる方を対象とさせていただきます。また、オンラインの参加も可能としておりますので、是非ご参加いただきたいと思います。参加費は無料です。多くのいろんな思いを抱えているご家庭、また当事者の方々、興味を持っていただき、ご参加をいただきたいと思います。

また、この「もうひとつの卒業式」は、令和 8 年 2 月に開催するだけではなく、今後毎年開催をいたしまして、それぞれの方々のタイミング、今だったら出たいな、出ようと思える、そういったタイミングにあった年に参加をいただきまして、元気や勇気、また心の豊かさにつながる、また何かのきっかけになるような会にしていきたいと考えております。

多くの区民の方々に、新しい一歩を踏み出すサポートになればと思います。卒業は終わりではなくて、次への始まりの一歩です。区民の方々や多くのメディアの方、皆様にも、この取り組みを広く知っていただきまして、広めていただけたら嬉しいなと思います。ご期待ください。

ご応募の方法は、10 月から 11 月にかけて、北区ニュースや区公式のホームページ、SNS、またフリースクール等の関係機関へチラシを配布するなど、発信をまいりますので、ご覧いただきたいと思います。お問い合わせは、北区教育委員会教育総合相談センターまでお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

次の項目になります。3 つ目の項目は、「つながる医療・福祉 No.1」から、熱中症から命を守る、高齢者と障害者対象、省エネエアコン購入費補助の制度であります。

東京都 23 区内では、令和 6 年度、1 年で熱中症で亡くなられた方々は 263 名いらっしゃると言われています。このうち 251 名の方が高齢者、そしてさらにエアコンを使っていなかった方が 152 名と、58% という数字が出ています。

また、今年、北区の中で、熱中症警戒アラート、これ初日、一番最初に発出されたのが 7 月 7 日です。この 7 月 7 日に出されてから本日まで、51 日間のうち、なんと 29 日間、警戒アラートが出されています。半分以上ですね。それだけ暑い日が続いている。区としても、こういった状況の中で、熱中症対策をさまざま取り組んでまいりました。涼みどころの設置拡充ですとか、高齢者の方々に首に巻く、首を冷やしていただくネッククーラーの配布などを実施してまいりましたが、熱中症による救急搬送の件数も増えていると報告を受けています。ということで、さらなる取り組みが必要であることから、今回の制度の実施となりました。

東京都は、環境政策として実施している省エネ家電の購入費助成制度、「東京ゼロエミポイント事業」を拡充し、新たに、特に熱中症リスクが高い高齢者や障害者の熱中症対策として、補助枠をつくり発表されました。区では、高齢者と障害者への熱中症対策として、この東京都の拡充された東京ゼロエミポイント制度を活用いたしまして、区独自の支援を上乗せすることで、高齢者と障害者のエアコン設置を促してまいりたいと考えています。

省エネ性能 3.0 以上のエアコン購入の高齢者、障害者への東京都補助分 8 万円に上乗せをいたしまして、区として 1 世帯 1 台限りとなりますが、4 万円を支援してまいります。さらに、非課税世帯の場合は、プラスして 3 万円を支援してまいりたいと考えております。詳細につきましては、現在、東京都がこの東京ゼロエミポイント制度の制度設計を行っている聞いておりますので、その内容がわかり次第、区も上乗せの内容を詳細発表していきたいと考えております。

例えばですね、ちょっとこの右側の表を見てくださいと、どのくらい支援になるかということで、東京ゼロエミポイント 8 万円に、区の対象となる区民の方々 4 万円、そして非課税世帯はさらにプラス 3 万円、一般的に、省エネ性能 3.0 以上のエアコン、その広さにもよるんですけども、小さいお部屋でしたら 15 万円ぐらいが平均の価格、大体価格帯であると聞いています。この 15 万円の対象エアコンを購入した場合の事例といたしまして、東京都の補助が 8 万円、そして区の独自補助が 4 万円、課税世帯の方々は 12 万円の補助で 3 万円の自己負担、また非課税世帯プラス 3 万円されますので、全体で最大 15 万円の支援となります。

申請開始時期は 10 月ごろから年度末までを現在予定をしております。対象は、エアコンが未設置、また故障状態で使用不能となっている高齢者、また障害者の方々が対象となっております。

またですね、申請には、販売店で購入後、東京都から個人へ送られてくる、決定通知書というものが 1 カ月程度で送られると聞いています。この決定通知書を保管いただくこと、提出していただくこととなります。もう一つですね。

一応ですね、レシート、領収書も、購入金額の内訳がわかるレシート、領収書も捨てずに保管いただきたいと思います。あわせて、非課税世帯の方々は、追加で非課税証明も必要となりますので、ご用意いただきたいと思います。

窓口手続きがスムーズに行えるよう、福祉部内に、庁内に福祉部門の専門チームを構成いたしまして、区民の方々のお問い合わせをしっかりと受けていけるように体制を組みたいと思っております。

熱中症の緊急対策として、この事業を通じ、高齢者や障害者の方々の健康や安全につなげてまいりたいと考えております。詳細はこれからでございますが、ぜひこの助成制度を活用いただきたいと思います。

続きまして、4 つ目の項目となります。4 つ目の項目は、「安全・安心 No.1 の北区強靱化」から、地域防災の担い手となる、防災士資格取得助成の拡充についてであります。2 年間で 100 名の防災士を誕生させることを目指し、防災士養成研修を実施してまいりたいと思います。

区では、これまで地域防災力向上の取り組みといたしまして、区の地域防災計画の改定に加えまして、さらに地域ごとの特性や課題を捉えた防災活動ができるよう、区内 19 地区ごとの地区防災計画の策定を進めるため、それぞれの地域で、地区防災会議、ワークショップを令和 6 年度から計画的に開催しております。

この中で、区民の方々からいただきましたお声であります、震災時、災害時に避難所でどのような動きを、何を優先して動いたらいいのかわかりづらいですとか、地域ごとに防災の専門的な知識を持つ専門家、相談できる人を置いてほしいなど、ご要望、ご意見を多くいただきました。

こういったご意見をいただいた中で、区といたしまして、19 地区の地区防災会議、会議から推薦をいただいた 1 地区、2 名の防災士を養成し、その地区防災会議、地域の方々のリーダー、地区防災会議や地域防災のリーダーを担えるような防災士を養成していくよう、令和 7 年度は、当初予算の中の事業として、防災士養成事業を計上いたしました。計画では 4 年間で 19 地区 2 名、計 38 名ですね、養成していく予定でありましたが、先程のご意見をいただき、今年度 10 名の募集を大幅に拡大をいたしまして、19 地区、2 年間で 100 名を養成していくことを目指すことといたしました。

この間、町会自治会連合会からも 4 年間かけずに、できるだけ早く防災士を養成して活動してほしい、人数も 1 地区 2 名ではなく、もっとたくさんの人数を増やしてほしいとご要望書もいただいております。

こういったことから、改めて 19 地区、各地区の町会自治会に対しまして、本事業を活用し、防災士資格取得希望者の調査をかけさせていただきましたところ、想定を大きく上回る、希望者 64 名の希望者があるということがわかりまして、事業の拡大を図ることといたしました。

改めて、当初の 4 年間 38 名から、2 年間で 100 名の防災士を育成していくことといたしまして、資格取得の講座についても、当初は個人でそれぞれ受講していただいて、資格取得の費用だけ補助する予定だったのですが、その形も変えまして、区として防災士養成研修講座を主催し、受講いただくような形に変えました。

この資格取得講座は、2 日間開催をいたしまして、2 日間参加していただき、講座の中で講義、救命救急講習、資格取得試験を含む一貫した学びの場を提供したいと考えています。より効率的かつ計画的な資格取得の支援を行ってまいります。

資格を取得されました区民の皆様には、地区防災計画の策定ですとか、また更新の作業、避難所に関する会議、防災訓練への参加、災害時の避難所運営など、地域防災活動の要として活躍をいただくこととしています。

さらに今回、今年、来年と 2 カ年で 100 名を養成していくこととともに、本事業では、これまで個人で防災士の資格を取得をされている方々、区内に実は 571 名、防災士の資格を持って認証登録をされている方々がいらっしゃいます。この方々に向けても、ぜひ令和 8 年度以降、ワークショップ、定期的なフォローアップ研修を行うことで、資格取得後も学びを深化することとともに、地域の自主防災組織、地区防災会議の方々と連携しながら、地域の防災力を向上していくための中心役として活用いただく体制をつくっていきたいと考えております。

今年、今年度の募集は、先程申し上げました各地区防災会議からの推薦者でいっぱいとなりますので、令和 8 年度以降の募集に向けた内容をぜひご応募いただけたらと思っております。お問い合わせにつきましては、こちらの方に掲載をさせていただいております。

地域防災の課題、防災士が必要、そして地区防災会議でさまざまな推薦をいただいて、養成講座で防災士を生み出し、活躍をいただく。この 4 段階で地域防災力を向上、目指してまいります。ぜひ多くの方々にご興味を持っていただき、一緒に学んでいただけたらうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、5 つ目の項目となります。同じく「安全・安心の防災と北区強靱化」から、詐欺被害をリアルタイムで阻止、詐欺電話対策モニター事業についてであります。これは東京都、都内で初の取り組みです。迷惑電話検知率なんと 98%のアプリを導入いたしまして、この事業を行ってまいりたいと思っております。

日本全国で特殊詐欺の被害が本当に深刻化しております。北区でも同じです。北区では令和 5 年度 90 件、被害件数ですね、90 件、約 1 億 5,360 万円の被害から、令和 6 年度は 127 件、約 4 億 7,430 万円と 3 倍、1 年間で 3 倍の被害に急増いたしました。

これまで区といたしましても、特殊詐欺対策は、お家の電話の家電に自動通話録音機をつけていただく貸し出しを、平成 27 年から継続しておりまして、累計で 1 万 343 台貸し出しをし、実績を上げてきていますが、なかなかこれだけは足りない。あわせて、各地域の防犯協会や町会、自治会の皆様、社会福祉協議会や民生委員の方々のお力も借りながら、年金が振り込まれる日には、地域の金融機関に立っていただいて声かけをするなど、いろんなハード、ソフト両面からこう取り組みを行ってきたんですけ

ども、やはりスマホ、携帯電話へのアポ電、この対策をやらなければ、この伸び率は収まらないという判断をいたしまして、今回これらの取り組みに加えて、東京で初めてスマートフォンを用いた特殊詐欺対策のモニター事業を立ち上げてまいります。

このモニター事業では、迷惑電話を検知するトビラシステムズ株式会社のアポ電対策アプリ、トビラフォン、トビラフォンモバイルを活用いたしまして、データ化されている迷惑電話の番号からの着信時には、自動で警告拒否を行い、危険な電話に出ることを未然に防ぎます。

また、発信時、着信時だけではなくて、発信のダイヤル時にも危険をお知らせするための詐欺被害拡大の防止にもつなげてまいります。かけた時にもですね、怪しい電話の時には通知されるという、着信も発信も危険をお知らせし、詐欺の被害防止の被害拡大防止につなげてまいります。

私、実は個人的にですね、携帯電話にアプリを入れてみました。まだ数日なので、そういったお知らせがないんですけども、とっても簡単に、こんな形でアプリに入れまして、かけた時に、自分は登録していない番号でも、このデータで、データ化されている迷惑電話の番号にかけてしまったり、受けた場合には、ここに表示されるという仕組みになっています。

ここですね、ちょっとそのイメージをお流ししたいなというふうに思います。具体的にどのように表示されるのか、ご覧いただきたいと思います。

まず、国際電話からの怪しい着信の時。アメリカ合州国から、こんな感じですね。海外の着信ですということで告知されます。

次に、警察を装った番号からの着信です。はい、迷惑電話の可能性ありと真ん中に、ご覧いただけますでしょうか。これがちょうど視線の真ん中に出ますので、出ないで、応答しないを選んでいただきたいと思います。

3つ目。登録のない番号からの着信の場合です。はい、こちらですね、迷惑電話の可能性ありということで表示されますので、簡単に出ないで未然防止につながるということです。この番号、電話番号だけになっていますが、このデータ登録されている怪しい番号が表示されたとき、もしくはその会社の登録されている会社なども、ここに表示されると聞いておりますので、ぜひアプリをダウンロードして、簡単に危ない迷惑電話に出ないような取り組みにつなげていけたらなと思っています。

海外からの着信や迷惑電話の可能性ありと表示されることで、よくわからないけど出てしまうという行動を抑制していくことを目指しています。

このアプリは、警察庁や総務省と情報連携する仕組みを備えているので、詐欺対策の最新情報を、常にこの今の電話番号に反映される仕組みになっています。また、このアプリは全国防犯協会連合会推奨の優良迷惑電話防止機器に、アプリとしては初めて認定されたアプリです。

事業の内容といたしましては、このアプリを活用しまして、20代以上の区民の方100名を対象にいたしまして、今年11月から令和8年3月末まで、アプリをダウンロード活用していただき、この期間中にアプリの有効性を検証し、今後の防犯対策の一環として、本格的な検討を行うための検証を行っていききたいなというふうに思っています。

さまざまな取り組みを続けまして、あらゆる詐欺対策をですね、区としても関係団体の方々と連携をし、取り組み続け、成果を上げることを目指していききたいと思っています。今後も「安全・安心 No.1 の防災と北区強靱化」を目指して、区民の皆様とともに、安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいりたいと

思います。

募集内容詳細につきましては、ホームページ等、今後掲載をさせていただくこととなっておりますので、ご覧いただきたいと思います。また、お問い合わせにつきましては、生活安全担当課、こちらの番号までお願いいたします。

続きまして、6 つ目の項目となります。「文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！」から、鍛金家、奥山峰石氏の米寿記念展のご紹介であります。

北区の名誉区民であり、また東京都の名誉都民、そして出身でいらっしゃいます新庄市の名誉市民でもある、人間国宝の鍛金家、奥山峰石先生の人間国宝認定 30 年と、88 歳米寿を記念して、今回です、出身地である山形県新庄市と北区のリレー形式で展覧会を開催いたします。

この新庄市は、今年、新庄市開府 400 年という記念の年でもあると聞いております。こういった記念の年である今年、新庄市と北区とで、両方でリレー形式での展覧会を開催し、多くの方々に奥山峰石先生の作品をご覧いただきたいなと思っております。

奥山峰石氏は、昭和 12 年に新庄市で誕生されて、職人を経験された後、鍛金家としての道を歩まれるんですが、昭和 45 年から北区に住まいを設けられまして、活動されて、平成 7 年に人間国宝に認定をされました。同年に、北区としても北区名誉区民として選定をさせていただき、平成 11 年には、新庄市から新庄市名誉市民に選定され、そしてさらに平成 30 年には、東京都の名誉都民として選定がされました。

この間、北区では、奥山峰石氏が人間国宝となられてから、区内でさまざまな作品展ですとか企画展を長年開催してまいりました。特に平成 14 年からは、北区教育委員会主催の「人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」は、現在まで 23 年間、毎年開催をしてまいりました。

今回、こういった取り組みを背景に、米寿記念と人間国宝 30 年の記念として、これまでの歩みを、作品を通じて感じていただくための展覧会を開催します。なんと、多分これまでの全国の奥山峰石先生の展覧会の中で初めてだと思うんですけども、名品約 75 点を一挙公開していきます。

これは見どころの一つでもあるんですね。文化庁や東京都、新庄市、そして北区、また個人の方々が所蔵されているさまざまな作品を、多くの関係者のご尽力によりまして、連携をし、今回展覧会で集めることができました。関係者の方々に感謝を申し上げたいと思います。

こういった 75 点という多くの作品展示とともに、48 年ぶりに一般公開されるような作品なども、貴重な作品も今回ございます。この一輪挿しの写真、画像を上げさせていただいてるんですが、この一輪挿しも 48 年ぶりに一般公開される作品の一つです。

昭和 52 年頃作成された一輪挿しなんですが、新庄市で開催された今回のリレー展示会、記念展で、私も初日、開会の記念式典に参加をさせていただきました。その時に奥山先生に質問したんですね。今回の 75 作品、展示の中、もしくはこれまでの作品の中で一番思い出深い作品なんですか？っていうふうに伺ったところ、なんと、この一輪挿しが一番自分の中で思い出があるんだよっていうお話をいただいた作品の一つです。

このようなさまざまな作品をですね、日本を代表する職人の技の魅力とともに、その背景にある奥山峰石先生の人間的な温かさや繊細さを感じていただける素晴らしい作品展になると思いますので、ぜひ多くの方々に参加をいただき、ご覧をいただきたいなと思っております。

新庄市では、8 月 2 日から 17 日まで開催されました。そして北区では、8 月の 30 日から 9 月の 21 日まで開催をいたします。このうち、9 月 1 日、8 日、16 日は月曜日ということで、休館日ですのでお休み

になります。午前 10 時から午後 5 時まで、初日は午後 1 時からとなります。場所は北区飛鳥山博物館の 2 階特別展示室・講堂となっています。

この初日 8 月 30 日にはですね、文化芸術に大変ご造詣の深い、高円宮妃殿下にもお成りいただくこととなっております。妃殿下久子さまは、2011 年 6 月に開催をいたしました、人間国宝奥山峰石金工 60 周年記念展にもお成りをいただいております。

奥山峰石先生のもので、さまざまな活動や取り組みの深さ、広さを感じさせていただくことができると思います。是非、多くの方々にお越しいただきたいと思っております。これからも地域の文化や伝統、そしてそれを支える方々の取り組みを、積極的に発信していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

そして最後となります。7 つ目の項目といたしまして、同じく「文化・芸術・スポーツを区民目線で活性化！」から、2025 デフリンピックを盛り上げよう！インクルーシブスポーツ体験の開催についてであります。

例年 10 月に開催をしておりますスマイルスポーツデーは、障害のある方もない方も一緒に楽しめる、インクルーシブスポーツを体験していただくイベントとして開催をし、イベントを通じて交流を深め、また相互理解促進、相互理解を進める場として、毎回多くの区民の皆様にご参加をいただいております。

今回は、これまでの内容をさらに進化をさせまして、新たに取り組むスポーツ体験イベントとして、e スポーツ体験会を開催したいと思います。新しいスポーツの形として世界中で注目をされている e スポーツは、大人から子供まで、また世代を超えて、そして障害のあるなし、有無に関わらずみんなで楽しむことができるスポーツです。

本体験会では、床がスクリーンに大変身ということで、ちょっとこの画像を見ていただきたいと思います。床がスクリーンになりまして、映像に合わせて動いて遊ぶことができるものを体験いただけます。運営には、e スポーツ関連企業であるエアデジタル株式会社の皆様のご協力をいただき、安全でスムーズな進行を実施していくこととなっております。

あわせてですね、デフリンピックを盛り上げてパラスポーツを体験いただく取り組みとして、ボッチャやビームライフルなどもご用意しております。開催日時は 10 月 19 日、日曜日。会場は赤羽体育館であります。申込方法やイベントの内容の詳細につきましては、北区ニュースや北区公式 SNS それぞれでご案内をこれからしてまいりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。一部、スポーツ能力測定のみ事前申し込み制となりますので、ぜひお早めにご覧をいただき、お申し込みいただきたいと思います。申込期間は 9 月 28 日までとなっています。

皆さまにとって、スマイルスポーツデーがスポーツの楽しさや、そして喜びを再発見することとなり、障害の有無に関わらず、そして年齢の高い低いに関わらずですね、新しくみんなで楽しめる、つながりが生み出される交流の場となることを心から願っています。たくさんの方々に、ご家族、お友達同士、みんなで参加していただきたいと思います。お待ちしております。以上です。

【司会】

それでは記者会見以上で終了とさせていただきます。ありがとうございました。

【やまだ区長】

ありがとうございました。

